

二〇二四年度 大妻中野中学校 海外帰国生入学試験 十月二十一日 問題用紙

(シンガポール会場)

# 国語

受 験 番 号	
番	
氏	名

## 受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて5ページあります。
- (二) 試験開始後ただちにページ数を確認してください。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに受験番号と氏名を記入してください。  
受験番号は算用数字で記入してください。
- (四) 試験時間は四十分です。
- (五) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

□ 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。(字数は記号・句読点も一字と数えます。なお、出題にあたって本文に一部改変があります。)

百人一首に「このたびは幣ぬきも取りあへず手向山紅葉にしきの錦神にしきのまにまに」歌が採られている菅原道真ですが、その作者表記はなぜか「菅家かんけ」になっています。これは他に例を見ない珍しい呼称です。本来なら『新古今集』にあるように「菅贈太政大臣」とするのがふさわしいはずですが、あえて人物を特定しないような名称になっているからです。あるいは「菅家」は、既に道真が神格化されていることを表明している名称かもしれません。そもそも道真といえ、日本三大怨霊おんりよう(道真・平将門まさかど・崇徳院すとく)の一人にされている恐れたふ崇り神たふ(雷神)でした。だからこそ、それを鎮めるために京都の北野天満宮をはじめとして全国に数多くの天満宮(天満大自在天神)が建立こんりゆうされたのです。その総数は三千とも一万二千ともいわれています。しかも人臣じんしんの道真ですから、普通なら神社なのに、皇族と同じように天満宮となっています。それは天皇の勅許ちよつきよがあつたからでしょう。それだけ恐れられていたことの証あかしともいえます。

ところが面白いことに、時代が下ると道真の性質が大きく変容してきました。本来的な崇りは影を潜め、有難いご利益の方が前面に押し出されてきたのです。それこそが庶民のたくましさでしょうか。崇るということは、それだけ強力なパワーを有しているわけですから、それがプラスに転化されても不思議はありません。

江戸時代、生類しやうるい憐みの令で有名な五代將軍徳川綱吉つなよしは、湯島(文京区)に学問所(湯島聖堂)を創建しますが、それと併せて湯島天神も篤く信仰されました。これによって道真は、学問の神様として都合よく据え直されたわけです。もちろん徳川家にとって、道真は崇り神でもなんでもありませんでした。もともと菅原氏は大江氏と並ぶ文章博士もんじようはかせ(学問)の家ですから、本来の正統なものが再び評価されたといえます。

こうして天神様に学問の神様という新しいレッテルが貼られると、それが庶民にも浸透していきました。江戸時代には全国に多くの寺子屋が作られ、そこで子供たちに読み書きが教授されました。その寺子屋の壁(床の間)に、天神様の画像が掛けられたのです。寺子屋に集う子供たちは、その天神様に様々な稽古事けいこことの上達をお願いしました。特に書道の上達が祈願きがんされたようです。浄瑠璃じやうるりの「菅原伝授手習鑑てなういかみ」にはそれが反映されています。

天神図は最初は肉筆の道真像だったでしょうが、次第に安価な浮世絵も刷<sup>す</sup>られるようになり、膨<sup>ぼう</sup>大な天神図が全国に広がっています。それだけ寺子屋（需要）が多かったわけです。明治になると小学校ができるので、従来の寺子屋は廃止され、同時に天神図も姿を消していきました。

戦後のベビーブームによって受験戦争が勃発すると、もう一度天神様の需要が高まります。仕掛け人は太宰府天満宮でしょうか。従来の学問の神様というご利益が受験に特化されることで、受験生用の合格お守りが飛ぶように売れました。太宰府天満宮など、銀座でお守りの出張販売まで行っています。そして現在、全国にある天満宮は受験の神様として篤く信仰されているのです。

それとは別に、学校との関わりから、岡山の学生服製造のメーカー（現在の菅公学生服）が学生服のブランド名として「菅公」学生服で本当たりを取りました。こうなると天満宮は、商売繁盛の神様としてもご利益がありそうですね。もはや天神様が恐い神様だったということは、ほとんど忘れられてしまったようです。

(吉海直人『暮らしの古典歳時記』角川選書より)

問い 本文に「道真が神格化されている」とありますが、筆者は菅原道真が神様としてどのように変容してきたと言っていますか。本文の語句を用いて八十字以内で答えなさい。

下書き用（八十文字）

解答は必ず解答欄に書いてください。こちらは採点の対象になりません。

[illegible]

二 次の各問いに答えなさい。

A 漢字に関する問題

問一 次の①～⑩の――部のカタカナは漢字に直し、漢字はその読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 手をセイケツに保つ。
- ② オウフクの切符を購入する。
- ③ 暑い日は水分ホキユウが大切だ。
- ④ 父は電車でツウキンしている。
- ⑤ 貴重品をアズかる。
- ⑥ 公園内の樹木を傷つけてはいけない。
- ⑦ 二人の友情を象徴するエピソードだ。
- ⑧ 珍しい模様もようの蝶を捕まえた。
- ⑨ 美しい音色おんしきを奏そうでる楽器。
- ⑩ 子どもたちが健けんやかに育つ。

B ことわざ・慣用句に関する問題

問二 次の①～⑤のA・Bの空欄に共通してあてはまる漢字一字を答えなさい。

- ① A 寝耳ねみみに  (意味…不意の事が起こって驚くことのとえ)

B 我田引  (意味…自分の利益となるようにひきつけて言ったり、したりすること)

- ② A 触ふらぬ  に崇たかりなし (意味…物事に関係しなければ、禍を招くことはない)

B  出鬼没 (意味…たちまち現れたり隠れたりして、所在が容易に知れない)

③ A 木を見て ☐ を見ず (意味…細かい点に注意し過ぎて大きく全体をつかまない)

B ☐ 羅万象 (意味…宇宙間に存在する数限りない一切のものと)

④ A ☐ を売る (意味…無駄に時を過ごす)

B ☐ 断大敵 (意味…気を許して注意を怠ることは失敗のもとであるから、大きな敵である)

⑤ A 悪事 ☐ 里を走る (意味…悪い行いはすぐ世間に知れわたる)

B ☐ 変万化 (意味…種々さまざまに変化すること)

### C 文法・言葉づかいに関する問題

問三 次の①～⑤の文をへゝ内の指示に従って、書き換えなさい。

※①・②は、――部のみを書き換えればよい。

①あの有名作家に会えるなんて、まるで夢だ。〈正しい文になるように、――部を書き換えなさい〉

②お客様がケーキを食べる。〈――部を敬語に書き換えなさい〉

③咲いているよ、色とりどりに、チューリップが。〈倒置法を使わない文に書き換えなさい〉

④姉は旅先の写真を毎日送ってくる。〈「写真」を主語にして書き換えなさい〉

⑤彼は約束を守る。〈打消の「ない」を二回使って意味を強めた文に書き換えなさい〉

問題は以上です。